

泉屋ビエンナーレ 2021

Re-sonation ひびきあう聲



2021 年 9 月 11 日 (土) ~ 10 月 24 日 (日)

2021 年 11 月 6 日 (土) ~ 12 月 12 日 (日)

同時開催

【青銅器館 1~3 室】中国青銅器の時代

第 3 室特集展示「中国古代の説話と文様」

【企画展】 (9/11~10/24) 木島櫻谷 四季の金屏風 一京都画壇とともに
(11/6~12/12) 伝世の茶道具 一珠玉の住友コレクション

【開催趣旨】

当館ではこれまで、青銅器館における青銅器展と企画展示室における特別展の二本立てで活動を続けて参りましたが、この度、当館の活動の新機軸を示すべく、青銅器館第 4 室におきまして現代鑄金作家の展覧会「泉屋ビエンナーレ 2021 Re-sonation ひびきあう聲」を新たに開催する運びとなりました。

高度な鑄造技術を用いて作られた中国青銅器は、単に貴重な古代の遺物というだけでなく、後の時代の人々の創作活動を刺激し、鑄金に限らず幅広いジャンルの作品のインスピレーションを生んできました。中国青銅器のもつこうしたクリエイティブな側面に着目するべく、現代鑄金作家に中国青銅器からインスピレーションを受けた完全新作の制作を依頼、各作家の旧作とあわせて公開するという初の試みの展覧会となっています。

中国古代青銅器と現代鑄金作家、時空を超えて共鳴する聲と聲を体感できるユニークかつクリエイティブな展覧会を是非ご期待ください。

タイトル 「泉屋ビエンナーレ 2021 Re-sonation ひびきあう聲」

会 期 2021年9月11日(土)～10月24日(日) / 11月6日(土)～12月12日(日)

会 場 泉屋博古館 青銅器館第4室

京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 TEL 075-771-6411

休館日 月曜日(9月20日は開館)、9月21日、10月25日～11月5日

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般 800円 高大生 600円 中学生以下無料

上記入館料で企画展も見られます。

主 催 公益財団法人泉屋博古館、住友グループ各社、京都新聞

後 援 京都市、京都市教育委員会、京博連、公益社団法人京都市観光協会

【出陳作家による鑄物体験ワークショップ】

* 小学4年生以上対象

* 要予約 受付開始9月1日10時・ホームページまたは電話 075-771-6411 まで

1. メダルをつくろう [講師] 佐治真理子
9月25日(土) ①10:00～ ②14:00～ 定員各回10名 / 参加費:1,000円
2. イカ骨“で”つくろう
[講師] 梶浦聖子、見目未果、佐治真理子、中西紗和、山下真守美
9月26日(日) / 11月21日(日) ①10:00～ ②14:00～
定員各回20名 / 参加費:1,000円
3. 錫皿をつくろう [講師] 平戸香菜
10月2日(土) ①10:00～ ②14:00～ 定員各回10名 / 参加費:1,500円

担当者・連絡先

泉屋博古館(京都) 広報担当 pr-kyoto@sen-oku.or.jp

606-8431 京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 泉屋博古館

TEL 075-771-6411 FAX 075-771-6099 HP <https://www.sen-oku.or.jp/kyoto/>

以上



万物層累聖獸盃
梶浦聖子



(竊曲文四足盃)



(鷗鴞尊)



夜の集
山下真守美



楽園
中西紗和



(竊曲文方炉)



夜霧の月 平戸香菜



鳥の青銅花器と繋ぐ花
三上 想



ふりつもることのかけら 巽 水幸



依りどころ
城戸万里子



ほねを 入れる ための ようき
見目未果